



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

感謝の心と情熱を



奉仕を通じて
平和を

田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

第1059回例会 2013年2月13日 No.1030号

会長時間



会長 下田 敬三

皆さん、こんにちは。お客様ようこそお越しくございました。どうぞごゆっくりとお過ごしてください。本日は、大変ご多用の中、プロゴルファーの倉本昌弘様にお越しいただきました。卓話時間宜しくお願ひ致します。

さて、2月は、世界理解月間です。1905年2月23日は、ポール・ハリスが友人3人とシカゴで初めて会合を開いた日で、この日はロータリーの創立記念日です。

よって2月は「世界理解月間」と指定されています。この月間中、ロータリー・クラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されています。また、2月23日の創立記念日は、世界理解と平和の日と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。さらに2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しました。

ガバナー月信2月号で、大之本ガバナーが、「相互理解の大切さ」として述べられています一部を紹介いたします。「ロータリーは人づくりであるとするわたくしは、その根幹は語らいにあると信じて止みません。例会や諸会合での会員同士の打ち解けた語らいをつうじて己の足らざるところを補い且つ学び、そうすることで人間性、徳性を磨くこと、それこそがロータリーが人づくりの所以であります。これを可能にするのはロータリアン同士の胸襟を開いたかたり合いです。私達を育て向上させる語らいは真の相互理解に支えられますから、これなくしては例会も交流密度の希薄な味気ないものに終って仕舞います。」「2月は世界理解月間です。世界理解の究極の目的は世界の平和であり、平和は人々の相互理解と善意と奉仕なくして実現は望みませんから、益々相互理解の大事さを痛感せざるを得ないのであります。」このように述べられています。

今回の例会(2月20日)

会員卓話

1月・2月誕生会員

次回の例会(2月27日)

来賓卓話

JA広島市 温品支店 支店長
佐々井 信光 様

出席報告

(例会運営委員会)

2月13日(水)出席者

会員総数	45名
出席会員	40名
欠席会員	5名
ご来賓	1名
ご来客	2名
ゲスト	0名

来客者紹介

(親睦家族委員会)

2月13日(水)出席者

広島RC	1名
広島安佐RC	1名

幹事報告(瀬川幹事)

■例会変更

- ・広島廿日市RC 「職場訪問例会」
【と き】 2月18日(月) 12:30～13:30
【と ころ】 広島県薬剤師会検査センター

■お知らせ

- ・第14回ロータリー国際囲碁大会のご案内が届いております。興味のある方は事務局までお知らせください。



.....SMILE BOX

下田敬三 会員

本日はご多用の中、プロゴルファーの倉本昌弘様においでいただいています。卓話よろしくお願ひいたします。

久保弘睦 会員、石田愼夫 会員

倉本昌弘様、大変お忙しい中を来ていただき、ありがとうございます。試合の裏話を聞かせていただけるのを楽しみにしています。

南條泰 会員

この度新工場をメキシコに設立することになりました。小さな工場ですが、車社会に少しでもお手伝いできればと思います。

当日計	26,000円	累計	624,000円
-----	---------	----	----------

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】下田 敬三 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】瀬川 長良 【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/>

【FAX】082-221-4870

来 賓 卓 話

現在のプロゴルフ界について

プロゴルファー
倉本 昌弘 様

～ USPGA挑戦中のRI君について～

① 現在3試合連続予選落ちはメーカーの道具の変更というよりは、USAでの試合の経験不足が大きなウェイトを占めているのではないかと。またローリ・マキロイのようなスウィングを理想とし、改造中である。これとの関連性はわからないが、彼は腰痛持ちである。アマチュアにも言えるが、スウィングの良し悪しと、腰痛との関連性はないと思われる。すなわち自分に適したスウィングをしているかどうかではないか。日本のプロゴルファー杉原さん青木さんも腰痛持ちではない。



② 2004年ころから世界のゴルフのあり方に変化が出てきた。

まずは道具。シャフト、ヘッド、ボールすべてにおいて飛距離が随分と伸びた。したがって、コースも全体が7000ヤード以上になり7400～7500のコースも出現。20年～30年前までは、スチールシャフト、パーシモン、糸巻ボールでゴルファーはアーノルド・パーマー、ジャック・ニコラウス、トム・ワトソンのような身長で170～175センチぐらいの選手が中心であった。今の若い選手の平均身長は185センチくらいあり、クラブ、ボールの改良も加わってボールが曲がらず遠くへ飛ぶようになってきた。ドライバーの平均飛距離300ヤードは普通。

③ 全米オープンも含め、18ホール中1ホール(ミドルホール)でワンオン可能なホールを作ることが行われた。300ヤード以上ではあるが、185センチ以上の身長選手なら可能となった。RI選手の予選落ち試合でのパー5ホールの成績。すべてオーバーパーであった。同コースでのフィル・ミケルソン、タイガー・ウッズのパー5の成績は二人とも10アンダー以上であった。これは、日本とアメリカの試合でのコース設定にも違いがある。

④ これまで日本の有名な選手であってもアメリカでいい結果を出せなかった選手が、いかに外国の選手と交際し溶け込むことができなかったか。逆に溶け込むことができれば何が違うか。アメリカは広い国で、東西では6時間の時差があり、カナダ国境で雪が降っていても、フロリダは30度。このことは、芝の植生が数十種類もあるということで、コースによる芝の違いとそれぞれに対する打ち方も違い、親しくなれば教えてくれる。RI君はスピードラーニングとかいうもので英語も上達したと言っている。少し取り巻きと離れて、ゴルファー同士の付き合いをおくした方が予選通過の近道ではないか。

(文責 井林)



広島県ジュニアゴルフ振興会では、ジュニア育成と共にゴルフを通して子どもたちの健全な育成に貢献するため、広島県内小学校にスナッグゴルフセットを寄付する活動を行っています。スナッグゴルフ支援自販機設置にご協力をお願いします。(倉本様より)